

朝ごはん

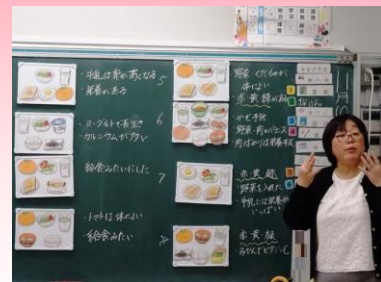
◎体系化された『食』に関する指導

各学年に応じた「食」に関する指導目標を定め、学期に1回程度「食」に関する授業を行っています。3年生では、朝ごはんの大切さを学び、栄養バランスのとれたメニューを考える授業をしています。授業の振り返りとして朝ごはんをつくる宿題を出すことで、家庭と食の課題を共有し、朝食摂取率の向上につなげています。

◎家庭への発信と地域資源の活用

「給食だより」を通じ、食に関する指導を家庭にも呼びかけています。

また、地域の畑を借り1年生はサツマイモ、3年生はジャガイモ、5年生はイネを育てています。



朝のあいさつ

◎生活委員による「あいさつ運動」

毎朝、生活委員（5・6年生）が校門に立ち、朝のあいさつを呼びかけています。委員でない児童もボランティアとして参加し、「あいさつ運動」の輪が広がっています。この運動によって自発的にあいさつをする児童が増えました。

◎PTA、地域と連携した取組み

地域のボランティアである「見守り隊」の方々が、交差点等にとって児童の登下校を見守っています。また、月に2回、PTAの方々が校門に立ち、児童と一緒に「あいさつ運動」を行っています。



朝の読書

◎朝の読書習慣

毎週木曜日、朝の10分間を読書の時間としています。担任や学校司書からアドバイスを受けながら、児童は読む本を選んでいきます。

この取組みによって、授業に集中する児童が増えたり、読書習慣が身に付き図書館に通う児童が増えました。

◎年3回の読書月間

6月、10月、2月を読書月間と位置づけ、図書委員（5・6年生）が中心となり、おすすめ図書の紹介や図書館企画を実施しています。

